

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月20日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 相生市相生字柳山5315-46

氏 名 関西電力(株) 相生発電所

所長 藤 井 康 弘

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0791-23-5063

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	関西電力(株) 相生発電所
事業場の所在地	相生市相生字柳山5315-46
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	3311 発電所
②事業の規模	発電電力量 323,962.8 万kWh (平成25年度実績)
③従業員数	126人 (平成26年3月末時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙-2のとおり	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度（平成25年度）実績】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	(これまでの実施した取組) 平成25年度に発生した産業廃棄物の量は1,789 tであり、主に発電設備の稼働増加に伴い発生したダスト類（ばいじん）と排水汚泥の増加によるものであるが、どちらも全量セメント会社でセメント原料又は燃料の一部として再利用している。 産業廃棄物全体で3R実施率は100%であった。
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	(今後実施する予定の取組) 発電設備の稼働状況および定期点検の頻度により、産業廃棄物の発生量が大きく左右されるが、今後も再生利用および再資源化に積極的に取り組んでいく。
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類毎に置き場を設けて確実に分別し（別紙-4）、ガラス・陶磁器屑等、委託処理先を数社確保して、可能な限りリサイクルに努めている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 「現状取組」と同様

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 中和凝集沈殿排水処理装置で発生する汚泥（スラリー）は、汚泥脱水施設で減量化した後、コンテナ袋に詰め、全量をセメント会社で燃原料として再生利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 「現状取組」と同様			

(第4面)

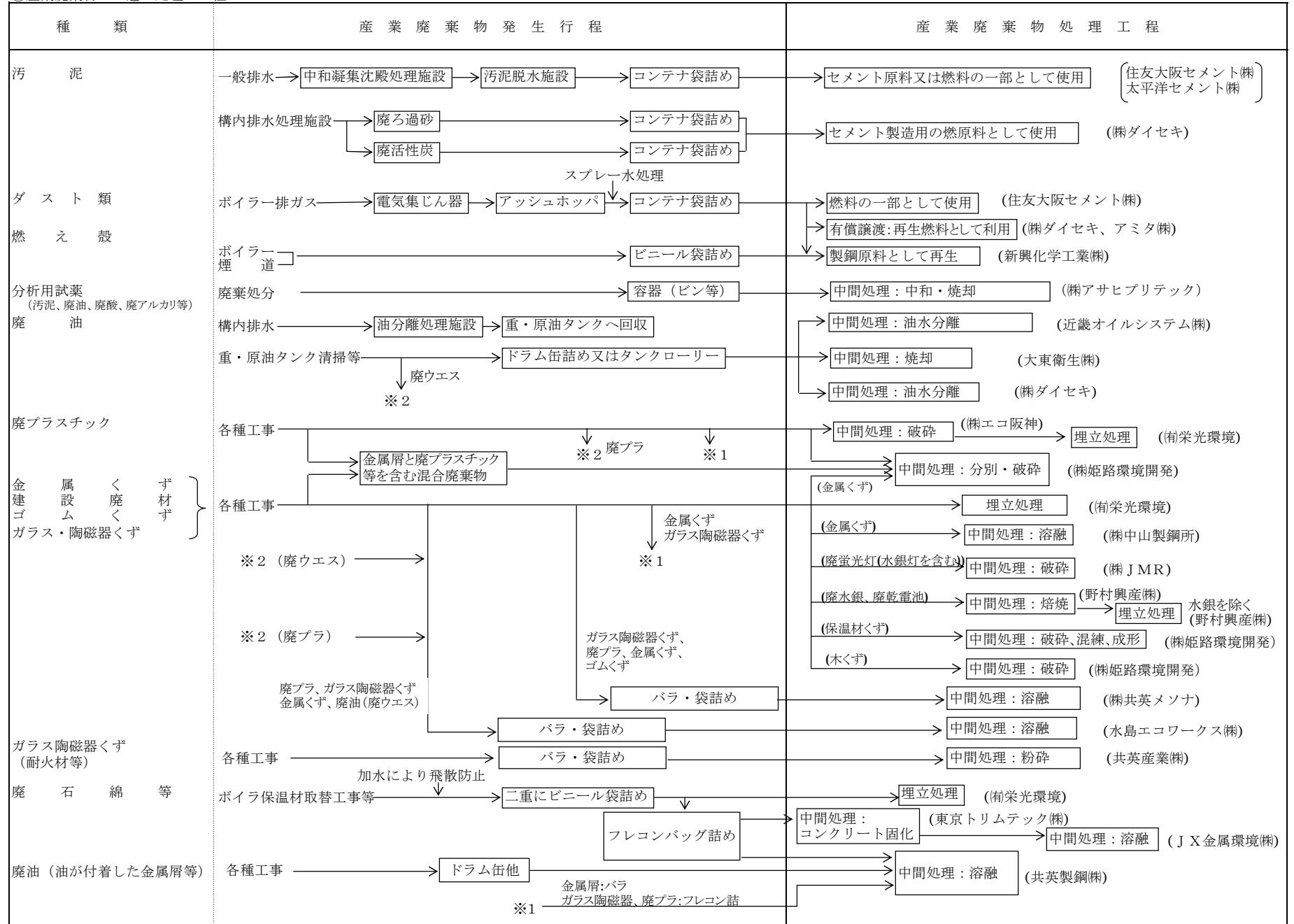
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) ゼロエミッション達成に向け、3R活動の推進を図る等、積極的に活動を実施してきた。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙-3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続きゼロエミッション達成に向けた取組を図る等、循環型社会 の実現に向けた活動を実施します。		
※事務処理欄			

備考

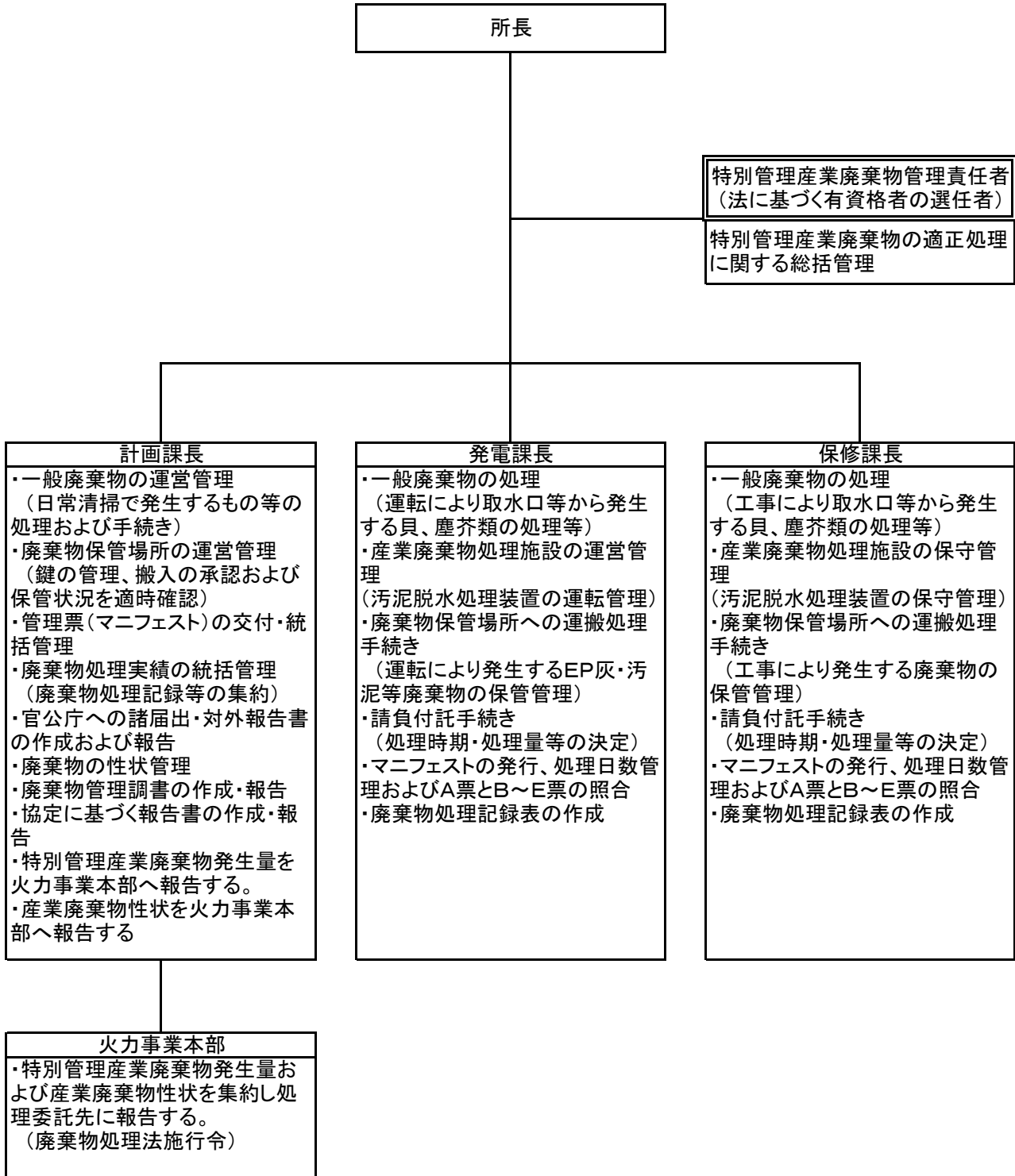
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程



廃棄物管理体制

 : 法に基づく選任者を示す



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度(平成25年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	排出量	1,129 t	601 t	10 t	5 t	0 t	5 t	39 t
		【前年度(平成25年度)実績】						
②計画	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	排出量	1,129 t	601 t	10 t	108 t	1 t	5 t	39 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度(平成25年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度(平成25年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	525 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	525 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度(平成25年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度(平成25年度)実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	全処理委託量	1,122 t	76 t	10 t	0 t	0 t	5 t	39 t
	優良認定処理事業者への処理委託量	0 t	31 t	7 t	0 t	0 t	4 t	37 t
	再生利用業者への処理委託量	1,122 t	45 t	3 t	0 t	0 t	1 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		【目標】						
②計画	産業廃棄物の種類	ダスト類	汚泥	廃油	燃え殻	金属屑	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック
	全処理委託量	1,129 t	76 t	10 t	108 t	1 t	5 t	39 t
	優良認定処理事業者への処理委託量	0 t	31 t	7 t	0 t	0 t	4 t	37 t
	再生利用業者への処理委託量	1,129 t	45 t	3 t	108 t	1 t	1 t	2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

注)排出量と全処理委託量(汚泥については中間処理後)の違いは、前年度保管分の処理または本年度保管分を含むため。

